

令和元年 10 月号 環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）

令和元年 10 月

佐久市・北佐久郡環境施設組合

今回は、工事開始前の調査において建設地付近で確認された希少動物の「クリイロベッコウ」、「ベニモンマダラ」、「ハチクマ」、「ハイタカ」について、6月から8月の生育調査結果を報告します。

1 クリイロベッコウの生育調査について

移殖先における生息調査を6月に行い、クリイロベッコウの生貝2個体及び死貝1個体を確認しました。

また、ヒダリマキゴマガイ、ヤクシマヒメベッコウ等、他の陸産貝類の生息も確認できましたので、生息環境及び生息個体への工事による影響はないと考えられます。



2 ベニモンマダラの生育調査について

ベニモンマダラの幼虫・成虫及び幼虫の食草となるクサフジの生息・生育調査を6月から7月に行い、幼虫26個体及び成虫29個体の生息を確認し、イネ科の植物の葉についたベニモンマダラの繭も確認できましたので、移殖先におけるベニモンマダラは順調に生息していると考えられます。

また、移植したクサフジは生育範囲が昨年度と比べて広がっており、順調に生育・開花していることを確認しました。



3 希少猛禽類(ハチクマ・ハイタカ)の定点観察・営巣確認について

建設工事による繁殖への影響を観察するため、建設地周辺で定点観察及び周辺の樹林地を対象とした営巣（巣づくり・子育て）確認を6月から8月に行いました。

（１）定点観察の結果について

6月から8月に実施した定点観察では、ハチクマ 30 例※、ハイタカ 1 例が確認できました。

※同一個体を2回観測した場合、2例として計上



（２）営巣確認の結果について

8月に営巣確認を実施しましたが、今回、定点観察で猛禽類が多く見られた場所付近での営巣は確認できませんでした。

（３）まとめ

今回の調査において、定点観察では猛禽類は確認できましたが、営巣は確認できませんでした。

しかしながら、定点観察において建設地周辺で複数の個体が確認できており、生息環境及び生息個体への工事による影響はないと考えられます。

4 次号（１月）の内容

- ◆ナガミノツルキケマン・キクタニギク・ヌマガヤツリ・ミズオオバコ生育調査結果
- ◆ヤエガワカンバ成木・現場移植幼木生育調査結果
- ◆オニヒョウタンボク成木生育調査結果 について予定しています。